

日本 IT ビジネスカレッジの理念、目標及び運営計画

日本 IT ビジネスカレッジでは旧瀬戸内市立玉津小学校の施設を再利用し、「地域創生」「グローバル」という 2 つのビジョンをもとに、世界を舞台に活躍する人材育成を行うことを理念として掲げる。

教育の内容は国際ビジネス、外国語に関する学科として編成する。カリキュラム内容として、岡山県の地元特産物や観光資源など各商品について、ICT 技術を利用し、国内外に PR したり、貿易実務の学習として、岡山県の商品を東京など都市圏や、海外市場に販売したりするなど、産官学の連携を行いながら、実践的な職業教育を行っていく点に特長がある。学生が卒業後に即戦力として活躍できるように、企業のニーズをカリキュラムへ反映し、新しい教育の形を実現していく。将来的には、農業、教育・社会福祉分野の学科増設も計画している。

「岡山県で、人材育成を通じて、次世代の 100 年を創る」をキーワードに、旧玉津小学校が岡山県の新たな知の拠点として、さらに、グローバル基地、文化発信地としての役割を担っていくことを目標としている。

運営計画として学生募集については、岡山県内だけでなく、東京・大阪・福岡などの都市圏でも、さらに、海外からも優秀な学生を招きたいと考えている。学校設立は若者を町に呼び込むだけでなく、教職員等をはじめとした雇用も創出され、空き家を寮として利用するなど、学生が定住することで、消費も促され、地域の活性化に寄与することができる と確信している。

所在地

岡山県瀬戸内市邑久町尻海 2968

校長

初代 田中 旬一

2 代目 橋口 博州（令和 2 年 4 月 1 日より）